

= 介護公開学習交流会 =

利用者・家族・介護従事者の立場から介護を考える

在宅介護では「時間短縮された中で、多くの作業を済まさなければいけない」、施設介護は「2交代・長時間勤務で身体介助などは過重労働」など多くの問題があります。

中でも腰痛問題は深刻です。厚生労働省は、第12次防災計画で、介護・看護領域の腰痛を減らすことを目標に掲げています。一方で、福祉予算の削減を進め、現場では様々な矛盾が生じているのも事実です。予算の確保と政策の転換を求める取り組みに、介護労働者や看護師などの安全衛生を守る運動が新たな力になることが求められています。

今回は、職業性腰痛・頸肩腕障害の予防の第一人者の滋賀医科大学埜田和史先生に、介護職場が安全で働きやすい職場になるようなお話をいただきます。

また、5月実施の広島県自治体への「介護保険見直しに関する調査」報告も行います。どなたでもお気軽にご参加ください。

労働安全衛生と腰痛対策

6月14日(土)

13:30~16:30

参加無料

広島県立体育館大会議室

〒730-0011 広島市中区基町 4-1

TEL (082) 228-1111 FAX (082) 228-4992

プログラム

- ◇学習会「介護労働者の労働安全衛生と腰痛対策」～安全で働きやすい職場づくりのために～
- ◇自治体介護保険見直しに関する調査報告
- ◇利用者・家族の立場から



講師：埜田和史氏
滋賀医科大学社会医学講座
衛生学部門准教授

日本人間工学会認定人間工学専門家、労働衛生コンサルタント

専門分野 社会医学、労働衛生学、人間工学、農村医学

研究課題 職業性腰痛・頸肩腕障害の予防、全身振動の生体影響評価、福祉・教育・医療職場の安全衛生管理、障害者の受療権保障、障害者の二次障害予防など

主催：広島県労働組合総連合 介護福祉労働者連絡会

〒732-0062 広島市東区光町 2-9-24-205

TEL 082-262-1550 FAX 082-261-5059

広島県社会保障推進協議会

〒732-0827 広島市南区稲荷町 5-5 松田ビル 201 広島県医労連気付 TEL 082-262-1575 FAX 082-262-1586